

災害調査での活用

UAVを活用した災害調査は効果的です。被災箇所の全景写真や部分写真、背後地状況写真等を取得することはもとより、地上やボートからは把握できない河床状況等が確認でき、被災メカニズムの把握にも寄与します。**被災状況写真**は、財務省の査定が机上で行われるため、採否の決定に直接関係することから、**被災の実態を十分に表現**することが必要です。さらに、災害現場は危険性を有しており、災害調査実施時において十分な安全性を確保した上で作業実施が必要です。UAVの活用は、調査員の安全性を確保した上で、これまで以上に迅速でかつ、被災実態を十分に表現する写真撮影が可能です。今後は浸水状況や洪水痕跡調査への活用を展開します。



雪崩災害での活用事例では、UAV撮影から雪崩とともに土砂崩れが生じていることが確認されています。機動性と安全性を有するUAVは被災状況の確認や二次災害の危険性確認、原因究明に大きく貢献します。

